

日本国内における学術雑誌の購読 状況：電子ジャーナルを中心に

歳森敦

目的

- 学術雑誌の購入状況を印刷版と電子版の両面について調査
- 電子版に関して、合計値あるいは平均値ではなく、個々の大学・機関の導入水準の分布がどのようなものであるかを明らかにする

背景(1)

- 洋雑誌価格の継続的上昇
- 大学図書館における資料費の減少
- 大学図書館における雑誌タイトル数の減少
(特に洋雑誌): 最盛期の6~7割に

背景(2)

- 電子ジャーナルの急速な増加
(97年以來前年比2～3倍の伸び率を維持)
- ただし、個別の状況は不明

調査方法

- 大学図書館，専門情報機関などに対する郵送質問紙調査
- 質問項目
年間の購入雑誌タイトル数と金額，STM誌の購入タイトル数と金額，新規購入タイトル数，中止タイトル数，購読電子ジャーナルのタイトル数と契約額，代表的な電子ジャーナルパッケージの契約状況，コンソーシアムへの参加状況等
- 有効回答736票 (74.6%)

印刷版雑誌の提供状況

- 平均タイトル数 1042タイトル

購入雑誌タイトル数

	国立 AB	国立 CD	公立 AB	公立 CD	私立 AB	私立 CD	大学 計	専門 情報 機関	合計
中央値	3885	1000	1138	340	2755	385	594	167	430
平均値	4464	1282	1735	398	3140	530	1269	230	1042
有効回答	30	43	6	62	43	170	354	99	453

AB:5学部以上, CD:5学部未満

印刷版雑誌の提供状況

- **平均タイトル数** 1042タイトル
 - **大学のみ**の平均 1269タイトル
 - 25パーセンタイル 276タイトル
 - 75パーセンタイル 1365タイトル
- **平均雑誌購入費** 5520万円

雑誌購入費用

(単位:万円)

	国立 AB	国立 CD	公立 AB	公立 CD	私立 AB	私立 CD	大学 計	専門 情報 機関	合計
中央値	18754	4570	5756	1035	10442	1207	2428	1200	2000
平均値	26493	5811	9496	1985	14366	2305	6324	2508	5520
有効回答	30	42	6	62	43	169	352	94	446

AB:5学部以上, CD:5学部未満

印刷版雑誌の提供状況

- **平均タイトル数** 1042タイトル
 - **大学のみ** 1269タイトル
 - 25パーセンタイル 276タイトル
 - 75パーセンタイル 1365タイトル
- **平均雑誌購入費** 5520万円
 - **大学のみ** 6324万円
 - 25パーセンタイル 785万円
 - 75パーセンタイル 7065万円

印刷版雑誌の提供状況

- 平均タイトル数 1042タイトル
- 平均雑誌購入費 5520万円
- STMタイトル数 542タイトル (60.9%)
 - ー うち洋雑誌 324タイトル (34.4%)

STM誌タイトル数

	国立 AB	国立 CD	公立 AB	公立 CD	私立 AB	私立 CD	大学 計	専門 情報 機関	合計
中央値	1699	482	297	226	761	178	308	160	257
平均値	2118	525	533	252	1153	301	678	205	542
構成比	45.7%	51.0%	30.5%	68.3%	33.2%	53.6%	51.6%	84.2%	60.9%
有効回答	30	36	6	47	35	89	243	98	341

AB:5学部以上, CD:5学部未満

印刷版雑誌の提供状況

- 平均タイトル数 1042タイトル
- 平均雑誌購入費 5520万円
- STMタイトル数 542タイトル (60.9%)
 - うち洋雑誌 324タイトル (34.4%)
- STM購入費 4244万円 (69.7%)
 - うち洋雑誌 3992万円 (57.8%)

STM誌購入費

	国立 AB	国立 CD	公立 AB	公立 CD	私立 AB	私立 CD	大学 計	専門 情報 機関	合計
中央値	11350	3490	3476	819	4376	1430	2631	1023	1800
平均値	15361	4327	5908	2444	5490	2662	5082	2480	4244
構成比	49.0%	60.7%	51.6%	78.3%	40.1%	67.3%	61.4%	87.4%	69.7%
有効回答	22	19	6	29	24	62	162	77	239

AB:5学部以上, CD:5学部未満

印刷版雑誌の提供状況

STMを収集対象としている機関において

- 購入雑誌の6割程度がSTM誌であり, その6割(全体の35%程度)が洋雑誌である
- 購入費の7割程度がSTM誌の購入にあてられており, その9割以上が洋雑誌にあてられている

電子ジャーナルの提供状況

- 平均タイトル数 1123タイトル
 - 大学のみ 1333タイトル
- 平均費用 690万円
 - 大学のみ 710万円
- 分布 5000タイトル超 11機関 (3.3%)
0タイトル 112機関 (33.4%)

電子ジャーナルのタイトル数

	国立 大AB	国立 大CD	公立 大AB	公立 大CD	私立 大AB	私立 大CD	専門 情報 機関	合計
0誌	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	31 (68.9%)	1 (2.6%)	57 (51.8%)	23 (36.5%)	112 (33.4%)
1～999誌	0 (0.0%)	4 (9.3%)	2 (40.0%)	11 (24.5%)	11 (28.2%)	36 (32.7%)	36 (57.1%)	100 (19.8%)
1000～2999誌	8 (26.7%)	24 (55.8%)	1 (20.0%)	3 (6.7%)	22 (56.4%)	17 (15.5%)	4 (6.3%)	79 (23.6%)
3000～4999誌	13 (43.3%)	14 (32.6%)	2 (40.0%)	0 (0.0%)	4 (10.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	33 (9.9%)
5000誌以上	9 (30.0%)	1 (2.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (2.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	11 (3.3%)
平均	4194 N=30	2394 N=43	2112 N=5	210 N=45	1742 N=39	418 N=110	218 N=63	1123 N=335

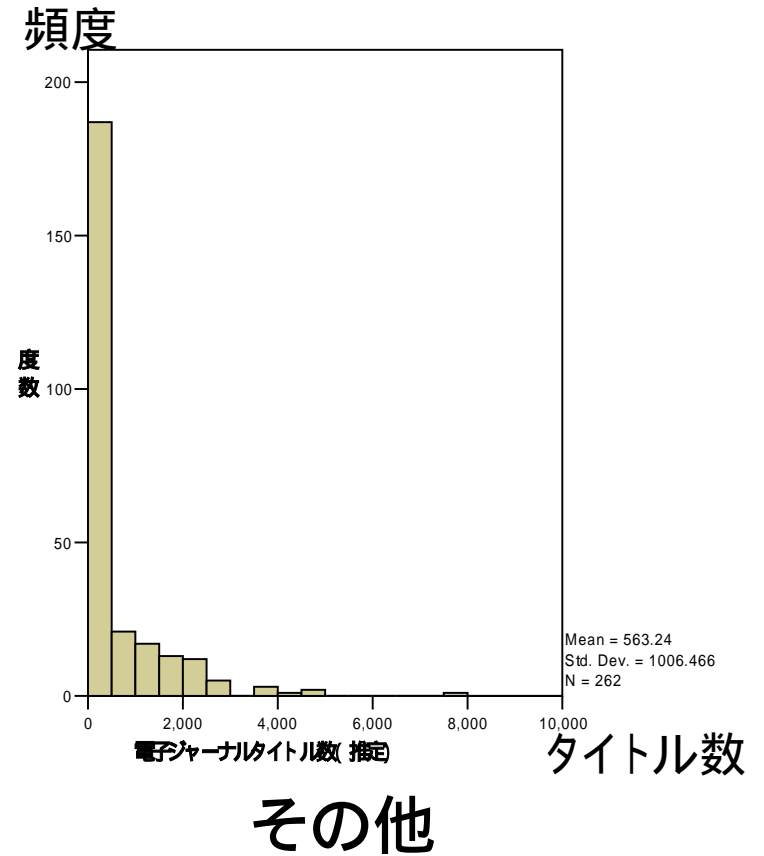
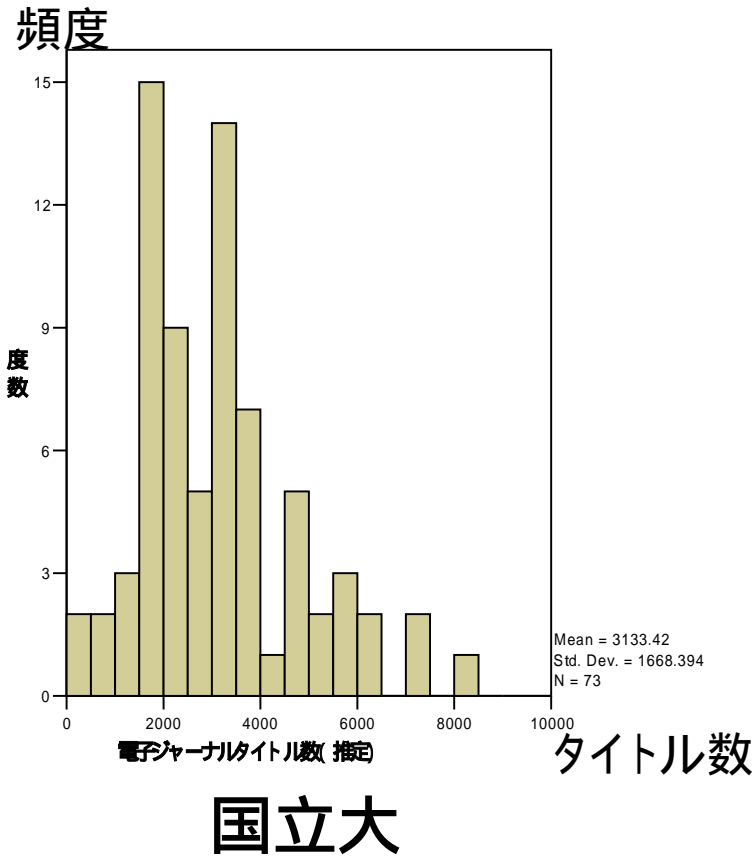
AB:5学部以上, CD:5学部未満

電子ジャーナルの費用

	国立大 AB	国立大 CD	公立大 AB	公立大 CD	私立大 AB	私立大 CD	専門情 報機関	合計
500万未 満	1 (3.4%)	19 (44.2%)	4 (57.1%)	50 (98.0%)	23 (56.1%)	128 (90.8%)	61 (88.4%)	286 (75.1%)
500 ~ 3000万	18 (62.1%)	22 (51.2%)	3 (42.9%)	1 (2.0%)	11 (26.8%)	13 (9.2%)	3 (4.3%)	71 (18.6%)
3000万 以上	10 (34.5%)	2 (4.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (17.1%)	0 (0.0%)	5 (7.2%)	24 (6.3%)
平均費用 (万円)	2798 N=29	867 N=43	567 N=7	39 N=51	1829 N=41	158 N=141	598 N=69	690 N=381

AB:5学部以上, CD:5学部未満

電子ジャーナルの提供状況



電子ジャーナルの提供状況

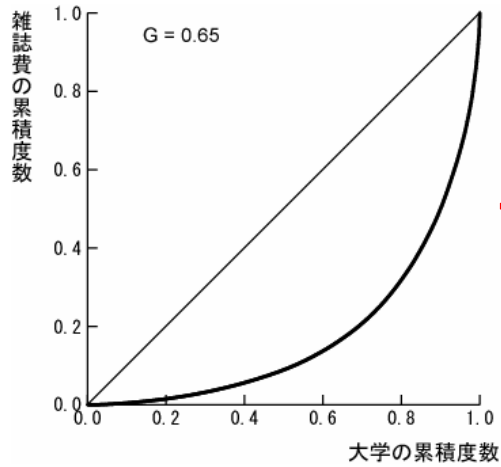
- (全般として)タイトル数上位校と下位校との著しい格差
- 国立大学での全面的(地滑りの?)導入

資源配分の格差

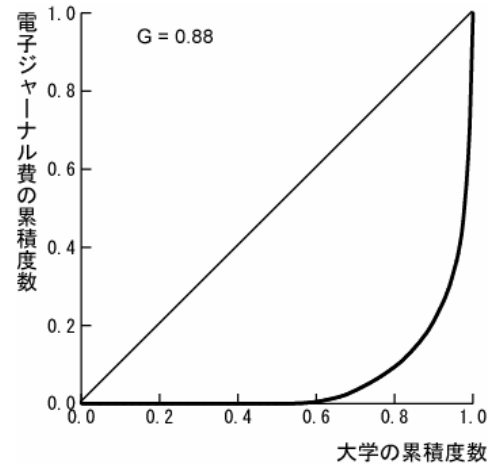
- 印刷版雑誌のタイトル数と費用の分布を基準に考える

資源配分の格差 (公私立大)

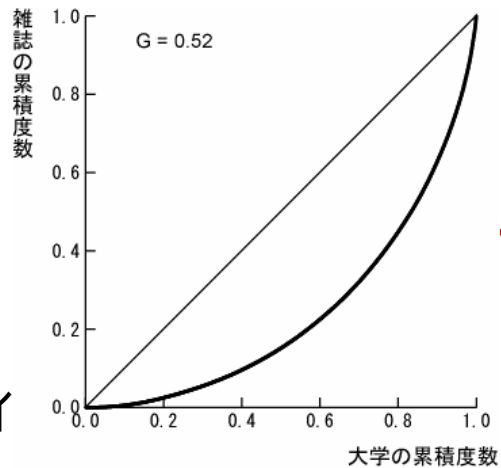
雑誌費



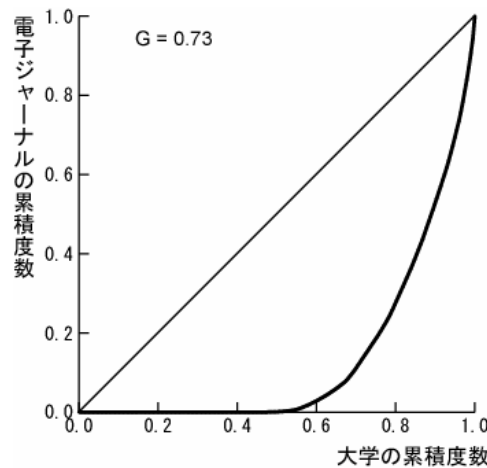
電子J費



雑誌タイトル数

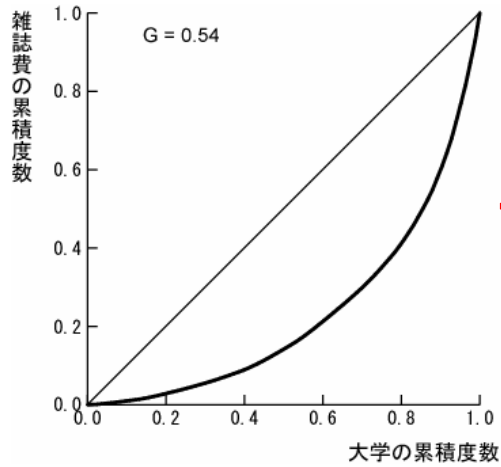


電子J
タイトル数



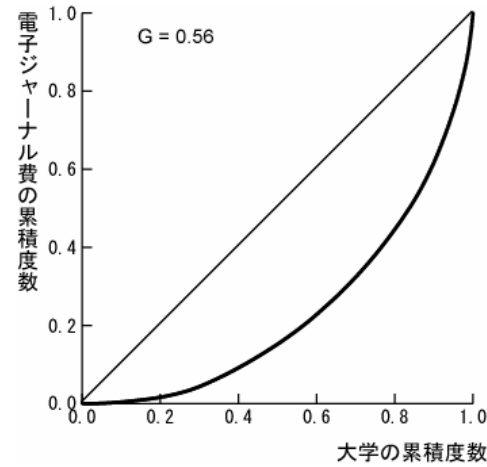
資源配分の格差(国立大)

雑誌費

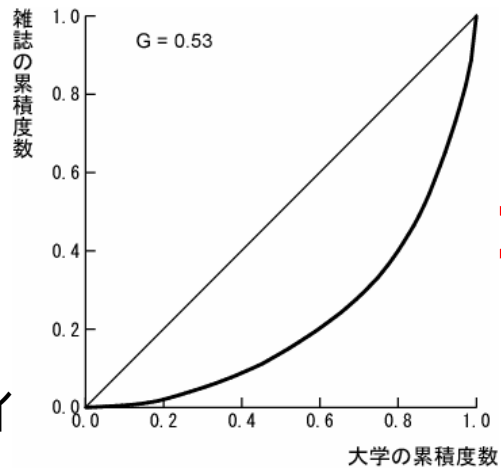


<

電子J費

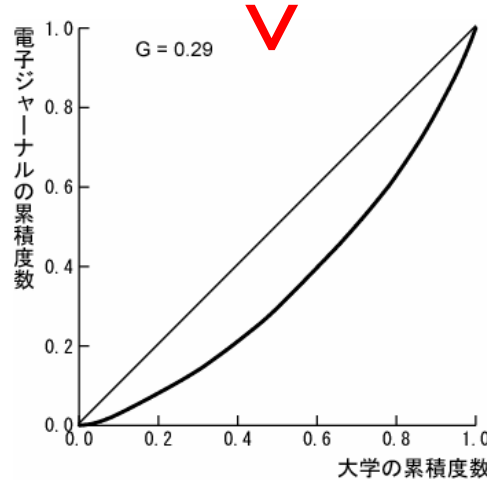


雑誌タイトル数



>

電子J
タイトル数



資源配分の格差

- 印刷版雑誌のタイトル数と費用の分布を基準に考える
- 電子ジャーナルの導入によって公私立大学においてはサービス水準の格差が拡大した
- 国立大においては格差が縮小した
- 国立大における格差縮小の要因は電子ジャーナルの価格づけの特性にある

電子ジャーナルの提供状況

- (全般として)タイトル数上位校と下位校との著しい格差
- 国立大学での全面的(地滑りの?)導入

コンソーシアムへの参加状況(表3)

	国立大	公立大	私立大	専門情報 機関
人的貢献	13 17.8%	2 3.1%	10 4.9%	3 3.8%
参加	61 83.6%	6 9.2%	42 20.5%	13 16.7%
不参加	0 0.0%	58 89.2%	155 75.6%	62 79.5%
有効回答	<u>73</u>	65	205	78

コンソーシアムへの参加状況

	参加	不参加
1000タイトル 未満	47	250
1000タイトル 以上	98	25

国立大学における電子J導入

- コンソーシアムへの参加と電子ジャーナルのタイトル数には有意な関係がある
- 特に国立大学の状況は、コンソーシアム(国大図協電子ジャーナルタスクフォース)の効果と考えるべきだろう

結論

- STMを収集対象としている機関においては、印刷版購入雑誌の6割程度がSTM誌であり、その6割(全体の35%程度)が洋雑誌である。また、雑誌購入費の7割程度がSTM誌の購入にあてられており、その9割以上が洋雑誌にあてられている

結論

- 国立大では大学の規模に関わらず意欲的に電子ジャーナルが導入されているが、公私立大の特に中小規模校ではあまり導入が進んでいない。
- 電子ジャーナルの導入によって公私立大においては大学ごとの提供タイトル数の格差が印刷版よりも拡大し、国立大においては格差が縮小した

結論

- 大学規模に応じた価格づけが行われる電子ジャーナルでは、中小規模校が相対的に低価格で導入が可能であり、国立大では契約額の実態以上に格差が縮まった。
- 国立大では全ての大学で電子ジャーナルの導入が進んでおり、これは国大図協電子ジャーナルタスクフォースによるコンソーシアム形成の効果と考えられる。